

ITbook ホールディングスグループ 兵庫県による「ため池監視システム展示場整備事業」に採択

当社グループの NEXT 株式会社 (本社:東京都港区、代表取締役社長:松場 清志、以下「NEXT」) が提供する環境計測サービス「みまわり伝書鳩」が、この度、兵庫県農林水産部・農地整備課による"ため池監視システム展示場整備事業"において、兵庫県ため池常設展示場(明石会場)に導入されましたので、お知らせいたします。

記

1. 背景·目的

昨今、農業者の減少や高齢化などによるため池管理・監視体制の脆弱化が見込まれる中、ため池を起因とした人的被害等の発生を防止するため、ICT(情報通信技術)の活用を推進していく必要があります。豪雨時におけるため池水位の上昇を的確に把握できる「ため池監視システム」は、緊急時の迅速な避難行動を促す減災対策として活用が期待されているものの、市町職員や管理者の認知度が低いこともあり、普及が進んでいない現状です。

そこで、兵庫県は、市町職員や管理者の理解を促進し、ため池監視システムの導入を加速化するため、 現地研修の開催に活用する「ため池監視システム展示場」の整備を開始し、民間企業に対して展示場に 設置するシステムの公募が行われました。その結果、NEXTを含む12社の企業が採択されました。

2. 展示概要

- ・期間:3年間(2024年1月から2026年12月まで※予定)
- ・会場:西島の上池 (明石会場):明石市大久保町西島字原田 682-1
- ・設置システム:みまわり伝書鳩 簡易気象計+カメラ+水位計(計測水位10m)

3. 設置システムの特長

「みまわり伝書鳩」は、総合気象観測センサーと組み合わせることで、リアルタイムな環境情報と今後の予報(温度、雨量、風速、流域雨量指数、土壌雨量指数)を把握し、防災に役立てます。さらに、ため池の排水ポンプ稼働情報と連携し、水位の傾向や下流域への排水情報の提供することで、大雨の増水時にも、迅速な初期対応を進めることができ、河川の防災対策として有効性が認められています。

また、兵庫県のHPに掲載されている製品の特長として以下紹介されております。

- ・様々なセンサーや表示器を接続可能な Gateway となっており、現場に合わせて必要な計測機器 を選択できます。
- ・ソーラー電源駆動、AC電源駆動を選択できるため、設置場所を選びません。



【水位データの確認方法】

- ・センサーデータをリアルタイムに測定し、Web 画面からデータの確認、グラフ表示が可能。
- ・サイネージ表示機能が標準搭載されているため、手元のディスプレイに常時表示も可能。
- ・しきい値を任意に設定し、しきい値を超えた際のメールでのアラート通知や、サイネージ画面での アラート確認が可能。

<サイネージ画面イメージ>



<グラフ表示画面イメージ>



- 4. 問い合わせ先および参考情報
 - ■「みまわり伝書鳩」に関するお問い合わせについて

NEXT 株式会社 (https://nextkk.co.jp/)

担当:小林

MAIL: m. kobayashi2@nextkk.co.jp

※2024年4月1日付でNEXT株式会社はITbookテクノロジー株式会社と統合いたしました。

- ■兵庫県HP『ため池簡易システム展示場の開設』 https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk10/2023tameikekanshisystemtenjijou.html
- ■関連プレスリリース『ITbook ホールディングスグループ ため池破堤予兆防災 DX を推進します』 https://ssl4.eir-parts.net/doc/1447/tdnet/2245427/00.pdf

当社は本事業を契機に、兵庫県をはじめ、県下自治体、ため池管理関係者のみなさまが取組みになられる"ため池防災・減災事業"の発展に貢献し、持続可能な地域社会の実現に向けたチャレンジをしてまいります。